

2026 年度立教大学一般入試 「物理」 入試問題 出題意図

2月6日実施分

全体として、高校物理の基礎事項を幅広く学習し、理解しているかを問うている。

- I. 力の釣り合い、物体の運動などの力学の基礎事項を問うている。また、数式から物理現象を読み解く思考力を測る。
- II. 熱力学における基本的な状態変化の理解を確認するのが目的である。気体の状態方程式を正しく使えれば解ける問題である。
- III. 電磁気学におけるコンデンサの取り扱いを理解しているかを問うている。コンデンサの作る電場や、そのいくつかの条件下での静電エネルギーが理解できていれば解ける問題である。
- IV. 波は数式でどのように表現できるのかを理解しているかを問う問題である。進行波と定在波とは数式でどのように表現できるかを理解していれば答えに辿り着ける問題である。
- V. 運動量保存則と、反発係数の理解を問う。さらに、エネルギーの保存を考えさせる。静止摩擦係数の理解を問う。力の釣り合い、力のモーメントの釣り合いの理解を確かめる。さらに、慣性力の理解を確かめる。
- VI. 電場中での荷電粒子の運動とエネルギーを問う。また、光電効果の名称と、光の粒子性の理解、電流のマイクロな理解を問う。さらに、光電効果での仕事関数の理解を問う。